



地域医療連携室だより

Vol.169



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院
地域医療連携支援センター 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2023年6月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散

口腔腫瘍センターのご紹介

口の中のしこり、びらん、

潰瘍ありませんか？



歯科口腔外科 口腔腫瘍センター長:山本 学

近年、「口腔がん」が増加していることが強く指摘されています。例えば、1960年と2010年の口腔がん患者数を比べてみると(すなわち50年前と比べてみると)、男性は約10倍、女性は約7倍と大きく増加しています。

また、2019年2月に歌手で女優の芸能人が自らが舌がんであることを公表されたことで「口腔がん」は世間の注目を集め、口腔がんを小さいうちに見つけて早く治そうと全国的に活発に口腔がん検診が始まり、その受診者数も大きく増加しています。

さて、2023年4月1日に開設された口腔腫瘍センターは、「口腔がん」をはじめ、口腔の軟組織(舌、頬粘膜、歯肉、口蓋など)および硬組織(上顎骨、下顎骨など)に発生した腫瘍(良性、悪性)を中心に検査、診断および治療を致します。特に、なかなか治らない口の中の”しこり”、びらん、潰瘍などを有する患者さんがおられましたら、是非ご紹介してください。

診察は月、水、金の8:45-11:30です。地域医療連携室経由でご予約をお願い致します。



24時間365日

休まない救急

救急診療科・集中治療部: 千葉 玲哉



平素より地域の医療機関の先生方におかれましては、当院の救急診療の運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。当院の救急診療科、集中治療部についてご紹介させていただきます。

当院は ER 型救急といたしまして、重症度に関わらず24時間365日休まない救急をモットーに診療を行っています。初療医と専門医の垣根を低く保ち、必要な治療介入が即座に実行できる状況を常に維持しています。京都府立医科大学と滋賀医科大学の協力を得て、救急専門医が常時対応させていただいています。

ICU は8床を集中治療専従医(専門医2名含む)が管理しています。新型コロナウイルス感染症の猛威は落ち着いていますが、ピーク時には救急病棟も併用して10名程度の新型コロナ重症患者を管理している時期もありました。現在は平静を取り戻していますが、その他疾患に関してもグローバルスタンダードな集中治療を提供して参ります。

当院は今後も救急医療に全力投球を行いますので、今までと変わらず、ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



病院からのお知らせ

第 82 回日本医学放射線学会総会 「イメージ・インタープリテーション・セッション」にて受賞しました

第 82 回日本医学放射線学会総会(2023 年 4 月 13 日～16 日/横浜)「イメージ・インタープリテーション・セッション※」において、当院放射線科診療部長の市場文功医師が優秀な成績をおさめ、受賞しました。

市場医師は、2007 年に当院に着任され、年間 12,000 件を超えるレントゲン、CT、MRI 画像を診断してこられました。たゆまぬ日々の研鑽と、膨大な実臨床経験で鍛え上げて来られた診断力は広く知られていましたが、この度、国内最大の医学会で、文字通り、先生が日本を代表する画像診断医であることが認められました。

実臨床では、教科書には書かれていないような難解な症例に何度も遭遇します。私は少しでも診断に迷ったら、市場医師にすぐに相談しますが、どんな時でもにこやかに、かつ正確無比な回答が返ってくることにいつも感動します。

当院が最高レベルの画像診断医を擁している幸運を、皆さんとともに慶びたいと思います。

文責 院長 日野 明彦

※「イメージ・インタープリテーション・セッション」とは、読影が難しい画像に対して全国の放射線画像診断医が回答を競い合うセッションです。



人命救助に対する感謝状を授与

2023 年 2 月 26 日(日)当院職員 2 名が、心肺停止状態の傷病者に対して、迅速かつ適切な救護処置を行い人命救助に貢献したとして、吹田市北消防署より感謝状を授与されました。

(経緯)

吹田市で開催された「日刊スポーツ杯 第 8 回 EXPO リレーマラソン日本選手権 IN 万博記念公園」において、心肺停止状態で突然倒れた傷病者に対し、参加者として居合わせた当院放射線科医師 1 名放射線技師 1 名他、その場に居合わせた 3 名が心臓マッサージ、AED を用いた心肺蘇生処置等を実施し、無事一命を取り留めました。

感謝状受領は大変名誉な事であり、全職員の模範となる行動であることから、当院からも表彰を行いました。

当院は救急告示病院として、救急対応における知識習得を目的とした救急救命研修を全職員対象に開催しています。今後も、研修会にて習得した知識を瞬時に行動に移せる人材育成を継続してまいります。



新看護局長のご挨拶

看護局長: にしむら西村 ゆか由香



滋賀の地に降り立ち、当院へ赴任し 30 年余りとなります。辞令交付式では、大津市民憲章を唱和し「あたたかい気持ちで旅の人をむかえましょう」という言葉に、大津の風土を感じ、迎え入れてくれた病院でしっかりと実践していこうと決意したことを覚えています。年数を重ねるにつれ、私自身が患者様を温かく迎え入れていくのだという気持ちが強くなりました。看護局理念である「**寄り添い続ける看護**」が自分自身に根付いていったのだと思います。

新興感染症の拡大などにより、地域における当院の急性期病院としての役割を改めて感じています。このような時に大役を拝命し、身が引き締まる思いです。

患者様の生活の質に目を向け、意思決定支援や日常生活支援、治療の実施等において、人の生活を支えるという看護の力が、今後より一層期待されています。地域の皆様に寄り添った医療を提供していく為の体制づくりが重要であり、今後も、急性期医療に重点をおき、地域医療にも積極的に取り組んでまいります。

看護職の期待される役割として、治療に関連する専門性の高い看護の提供と、退院後の患者様の生活を重視したケアの提供があります。看護職員一人一人がその役割を担うことができるよう、個人の能力開発に取り組み、実践能力の向上に努めています。

人材育成においては、患者様や家族の思いに「気づく」、「寄り添える」そして「考え行動する」ことを教育理念とし、「人材」を「人財」とし大切に育てていく環境づくりに努めています。

また、当院で働く看護職員の「生活」と「仕事」が両立できるよう、看護職員を支援していく組織でありたいと思っています。一人一人が、主体性をもって、知識、技術、態度を身につけ、看護師として成長することで、人としても成長してほしいと考えています。当院で働く看護職員が、仕事に「やりがい感」と「満足感」をもち、生き生きと働き続けられる環境づくりに務め、これからも地域の皆様と連携し「寄り添い続ける看護」を提供していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



次長 局長 次長 参事
かわしま こと にしむら ゆか すさみ ともこ やまだ ひさみ
川島 もと子 西村 由香 須佐美 智子 山田 久美

看護局理念

- 専門的知識を深め(HEAD)
- 洗練された技術で(HAND)
- 患者さんの生きる力を引き出し(HART)
- 寄り添い続ける看護を提供します

病棟看護師長のご挨拶

6B 看護師長:

やまざき ふみこ
山崎 富美子



6B 病棟は、整形外科、眼科、脳神経外科の混合病棟です。術前・術後の入院生活を、安全・安楽に過ごしていただけるよう努めています。また、日常生活動作の回復を援助し、患者様が住み慣れた地域で生活できるようリハビリスタッフをはじめ多職種と連携し退院支援を行っています。

5A 看護師長:

にしで ゆきこ
仁志出 幸子



5A 病棟は小児科、耳鼻咽喉科、歯科、皮膚科、婦人科などの混合病棟です。対象年齢が幅広い病棟であり、様々な患者様やその御家族様に寄り添う看護の提供に努めています。

8A 看護師長:

たにくち あつみ
谷口 敦美



8A 病棟は呼吸器内科、血液内科と今年度より呼吸器外科が加わった混合病棟です。患者様の意思を尊重し、安心できる看護の提供に努めています。また、退院後もその人らしい生活が送れるよう多職種と連携を図り、支援しています。

7A 看護師長:

たむら まり
田村 麻里



7A 病棟は、外科・乳腺外科・脳神経外科・消化器内科の混合病棟です。急性期病棟で周術期・化学療法・内視鏡治療・検査・緩和における看護を提供しています。

患者様、そのご家族に寄り添った、安全な看護を提供できるよう日々努力しています。

7B 看護師長:

てらだ あきこ
寺田 麻子



患者様ひとり一人の生活に視点をおき、患者様に寄り添い、安心して安全な質の高い看護の提供をめざしています。多職種を交え看護やクリティカルケアについての知識を共有しています。共に協同し成長できる病棟をめざして研鑽しています。

8B 看護師長:

たかはし ちづこ
高橋 智都子



8B 病棟は泌尿器科・消化器科・皮膚科の混合病棟で手術・内視鏡治療・化学療法が主体の急性期病棟です。消化器内科では短期入院の医療・看護の提供を行い、周術期看護では、術後の排尿自立ケアに力を入れています。

9A 緩和ケア病棟看護師長:

やまぎわ くみこ
山極 久美子



患者様の痛みをはじめとした様々な苦痛に対応できる様スタッフが関わっています。本人様、ご家族の希望を伺い、自分らしく思い通りにご自分の時間を過ごしていただけるよう対応していきます。

外来部・血液浄化部

おくむら のりこ
看護師長: 奥村 紀子



外来では、安心して治療や診察を受けていただけるよう、患者様と家族様にお声かけをしながら診療の補助をいたします。

患者様の望まれる生活に近づけられるよう他職種と連携し、地域との継続看護の提供に努めています。

ER 内視鏡看護師長:

なかさと たまみ
中里 玉美



ER・内視鏡センターは、感染症 ERも含め、日々シミュレーション学習を重ねあらゆる緊急患者に対応出来るよう、頑張っています。

明るく笑顔で患者様を受入れられるよう、日々心も磨いています。

ICU 看護師長:

はらだ みどり
原田 緑



集中治療部では、常勤の専門医のもと、24 時間体制で急性期の重症患者さまの全身管理を行っています。急性期の患者様、そのご家族に寄り添った安全な看護を提供できるよう、日々努力しています。

3B 看護師長:

かとう あけみ
加藤 明美



3B 病棟は、救急入院を受け入れている病棟となります。様々な健康段階におられる患者様の観察を密に行い、異常の早期発見早期対応を心がけ安心して療養していただけるよう日々関わっています。

中央手術部看護師長:

うちだ みちよ
内田 美智代



手術部では、患者さまが術前、術中、術後を通して安全、安楽そして安心して手術を受けられるように、専門的な知識と熟練した技術を持ち、多職種と連携して一人一人に寄り添う看護に努めています。

2023年5月12日「看護の日」イベントを開催いたしました



2023年5月12日「看護の日」イベントを Team Fish の皆様中心に開催させていただきました。

患者様のみならず、地域からの参加者もおられ、久しぶりの開催に「待っていましたよ。」と暖かいお声をかけて頂きました。

午後から中嶋副院長によるピアノ演奏 看護局副看護師長でのハンドベル演奏があり、患者様より「病院に来て生演奏が聴けるなんて感動した。」とのお言葉を頂きました。

来年度も開催が出来ることを念願しております。「アフターコロナ」が近づいてきているのを実感できる日になりました。



開放型病床再開のお知らせ

新型コロナウイルス流行に伴い休止しておりました開放型病床利用を再開いたします。

開業医の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。

再開するにあたり、「開放型病床利用についてのお知らせ」を病院ホームページに掲載しております。

MSW アイコさん

